

仮想の“まち”でお店を作り、働いたり、買い物をして社会の仕組みを体験！  
こどもスタッフがつくる“こどものまち”へ小・中学生200名が来場

## 「北区こどものまち」取材のご案内

教育・心理学科の学生が、「こどもスタッフ会議」進行のファシリテーターとして参加  
2月24日（土）13：00～16：00、25日（日）11：00～15：00  
大谷大学4・5号館

大谷大学(所在:京都市北区小山上総町/学長:木越 康)は、本学文学部教育・心理学科の学生達がファシリテーターを担当する「北区こどものまち」(主催:北区未来につながる区民会議、京都市北区役所)を、2月24日(土)・25(日)に本学4・5号館にて開催します。

本事業は、仮想の「まち」を舞台に、子ども自身が「こんなお店があったら」「こんな便利なまちの仕組みがあったら」などを自由な発想の下で、その「まち」で仕事をして、お給料をもらったり、買い物をして、遊んだり、楽しみながら社会の仕組みを体験するイベントで、昨年に引き続き2回目の開催となります。

この「まち」の企画内容は、北区に住んでいる、または通学する小学3～6年生と中学生から応募のあった38名の子どもたちで構成する「こどもスタッフ会議」で検討が進められ、本学の文学部教育・心理学科第3学年の学生7名(岩淵信明ゼミ所属)が、2017年11月から計7回にわたって「こどもスタッフ会議」進行のファシリテーター役を担っています。その他、昨年に参加した岩淵ゼミ第4学年の学生7名や教育・心理学科の学生16名もサポートスタッフとして協力しています。

2月24日(土)・25日(日)には各日200人程の小・中学生が来場予定。来場した小・中学生は、10ドキ均一、<sup>※</sup>アパレルショップ、物々交換店など14店舗が並ぶ「こどものまち」で、ハローワークで仕事を探し、働き、得たお金で買い物をします。さらに今回は、働いて得たお金で起業が出来る仕組みも検討しています。つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、当日取材を御検討の程お願い申し上げます。

※「ドキ」は今回の「北区こどものまち」で使用する通貨の単位



昨年の「こどものまち」の様子。

### ●参加学生のコメント

文学部教育・心理学科3年  
平島 健翔 さん



「北区役所と共同で行う企画で、今回で2年目になります。先輩がたの去年の経験を生かしつつ、より楽しみながら、こどもたちが社会の仕組みを学ぶことが出来るように取り組んできました。ひとりひとりの意見をなるべく反映できるように、どうすればそれが実現できるかな？ということと一緒に考えながら作りあげてきました。当日たくさんのこどもたちが楽しめる場を創っていきます。」

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

大谷大学 企画課 安井・平岡 TEL: 075-411-8115 FAX: 075-411-8149  
大谷大学広報デスク (プレニング・ボート内) 澤田・井上・福嶋 TEL: 06-4391-7156 FAX: 06-4393-8216

※恐れ入りますが、ご取材いただける方は、2月23日(金)までにFAX返信用紙にてご連絡をお願いします。

## 「北区こどものまち」 概要

- 日程 : 2018年2月24日(土) 13:00~16:00 (受付開始12:30~)  
2018年2月25日(日) 11:00~15:00 (受付開始10:30~)
- 場所 : 大谷大学 4・5号館 (〒603-8143 京都市北区小山上総町)  
京都市営地下鉄烏丸線 国際会館行「北大路」駅下車徒歩2分 JR京都駅から乗車時間約13分
- 対象(来場者) : 北区内に在住又は通学中の小学1~6年生及び中学1~3年生 各日200名  
(こどもスタッフ) : 北区内に在住又は通学中の小学3~6年生及び中学生 38名  
(ファシリテーター) : 大谷大学文学部教育・心理学科学生 7名
- 主催 : 北区未来につながる区民会議、北区役所
- 運営 : 大谷大学

### 「こどもスタッフ会議」 スケジュール

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 第1回:2017年11月19日(日)       | テーマ:「こどものまちをしる」    |
| 第2回:2017年11月26日(日)       | テーマ:「社会の仕組みをまなぶ」   |
| 第3回:2017年12月10日(日)       | テーマ:「お店と役割をきめる」    |
| 第4回:2017年12月17日(日)       | テーマ:「お店の配置をきめる」    |
| 第5回:2018年1月14日(日)        | テーマ:「お店をデザインする」    |
| 第6回:2018年2月4日(日)         | テーマ:「お店と商品をつくる」    |
| 第7回:2018年2月17日(土)        | テーマ:「まちをかざりつける」    |
| 第8回:2018年2月24日(土)・25日(日) | 「北区こどものまち」本番       |
| 第9回:2018年3月3日(土)         | テーマ:こどもスタッフ ふりかえり会 |

### 「北区こどものまち」2017年3月実施の様子



「ハローワーク~お仕事さがし~」は、まちびらきと同時に参加者による長蛇の列ができました。ここでは“こどものまち”のしごとを紹介してくれます。



“こどものまち”の通貨は「ドキ」。来場者はハローワークで見つけた仕事に就き、こども銀行に行き「ドキ」でお給料をもらいます。こども銀行ではドキの製造や両替もしていました。



おとなの待合室「まちの集会所」。“こどものまち”には保護者が入れないため、大人は集会所に設置された中継映像やこどもスタッフの引率による「見学ツアー」で我が子の様子を見ていました。

●ほかに“こどものまち”には、こんなお店がありました！

- ・お化け屋敷「呪霊の館」
- ・おもちゃ屋「トイパラダイス」
- ・家具・時計屋「ハッピーかぐ星」
- ・「ゲーム屋」
- ・「キッズゆうびん」
- ・コンビニ「Kids Store」
- ・「こども警察」
- ・「区役所」

など

【FAX返信先：06-4393-8216】

«FAX返信用紙»

「大谷大学」広報デスク  
(プランニング・ポート内) 澤田・井上・福嶋 宛

仮想の“まち”でお店を作り、働いたり、買い物をして社会の仕組みを体験！  
こどもスタッフがつくる“こどものまち”へ小・中学生200名が来場

## 「北区こどものまち」取材のご案内

教育・心理学科の学生が、「こどもスタッフ会議」進行のファシリテーターとして参加

2月24日(土) 13:00~16:00、25日(日) 11:00~15:00

大谷大学4・5号館

ご取材

2月 日 時頃～

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	計 名様	
連絡先	TEL	FAX
当日のご連絡先	携帯TEL	

«備考欄» ご取材につき、ご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※大変お手数ではございますが準備の都合上、2月23日(金)までに  
FAX返信用紙またはお電話にてご連絡いただきたくお願い申し上げます。